

## 2018アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 観音寺市立観音寺小学校 ] 担当教諭名 [ 井原 純平 ] ( 5年1組 29名 )

相手国・地域 [ パキスタン ]

海外学校名 [ Silver Oaks Schools & College, Wordsworth Campus ] 担当教諭名 [ Javeria Almas ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイル国際交流	16
	外国語活動	学校生活を紹介しよう	4
	図画工作	自己紹介カードを作ろう 絵をぬろう	9

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	文化を知り、広い世界を知ろう。そして輝かしい未来を創ろう。
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	お互いの文化を知り、世界にはいろんな文化があるということをよく理解していこう。 そして共に輝かしい未来を創っていこう。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国が違うと生活の様子が日本とは全く違うと感じるが、共通する部分もあることに気づくことができた。インターネットを活用して互いの情報を発信したり受信したりすることで、パキスタンのことを身近に感じ、理解を深めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身が初めての取り組みだったので、情報を発信する内容を充実させたり、機会を多くとれなかったりしたので、見通しをもって情報を伝えていくことができたよかった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオでの交流や絵などのやりとりを通して、異国の人も実際に連絡をとることができるという実感をもつことができた。</li> <li>・パキスタンの文化を知り、相手の文化を認めたり受け入れたりする意識の高まりや、自分の国の文化を大切にしようという思いをもつことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵を描くという目標に向かう中で、自分の国の文化の良さを改めて感じたり、相手の国の文化を知る際には歴史的な背景を正確に理解することの重要性に気づけたりした。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	7月 ～ 9月	自分の写真入りの自己紹介カードを作成した。	1学期には自己紹介カードを作成した。本当にパキスタンに届くのかという半信半疑の思いがありながら作成していた。実際に相手に届いたことを知ると児童はとても嬉しそうだった。	図工4 総合2 外国語2
共有 テーマ学習	9月 10月	日本とパキスタンの文化について調べ学習を行った。	共通点と相違点を知ることで互いの文化に対する理解が深まった。学校の様子や食べている物の違いを調べている児童が多かった。調べたことを発表し合うことで、多くの知識を得ることができた。	総合6
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	日本の良さを紹介するビデオづくりを行った。 壁画のテーマを決めた。	日本のことを紹介する内容を話し合った。有名な食べ物や建物、世界遺産など、日本を代表する物をビデオで紹介した。英語で日本のことを伝えることの難しさも感じながらも、一生懸命に伝えようとする児童の姿が見られた。	総合4 外国語2
創造 壁画制作	12月	壁画に描く具体的な物を決め、絵を描いた。	初めて大きな絵を描くので、とても楽しみながら取り組めた。休み時間にも色を塗る児童の姿が見られるなど、夢中で制作に励むことができていた。	図工5
評価 振り返り 自己評価	3月	一年間の活動を振り返った。 校内に掲示し、全校生に鑑賞してもらった。	相手から届いた絵を見て、描かれているものは何かをインターネットで調べた。振り返りを行う中で、様々な文化があるが、どの文化も大切に認め合うことの重要性に気づくことができた児童が多い。	総合4

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	インターネットを活用して調べることで、日本の文化の良さを再発見することができた。
異文化を理解する力	4	相手の様子が分かる写真を見ることで、相手の文化に興味・関心をもつことができた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	インターネットで文化を調べ、その内容を表現物にまとめることで必要な情報を収集・整理する力の高まりが見られた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	日本の様子を伝えようと英語を覚えたり、動作で様子を分かりやすくしたりした。
批判的に思考する力 (客観的・批判的視点)	3	農業などで共通することを発見した際には、社会の学習を思い出し、気候の条件が似ていることなどから考えを深められた。
主体的に考え行動する力	4	ビデオで日本のことを伝える際には、食べ物や遊びの様子を実際に行うようにした。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	絵を描く際には、誰が何の絵を描くかななどの分担をして作業を進めた。全体の色合いを考えながら全員で色塗りをしていった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画デザイン)	4	構図を考える際には、どこに何を描くと日本の様子が伝わるのかを話し合った。配色もできるだけ正確にその物を描くように意識した。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	絵が完成したときには児童がとても喜ぶ姿が見られた。一年を振り返り、活動の前と自分の考えがどのように変化したのかをワークシートにまとめた。